

はれたらあの丘

ふたりで



はれたらあの丘へふたりで



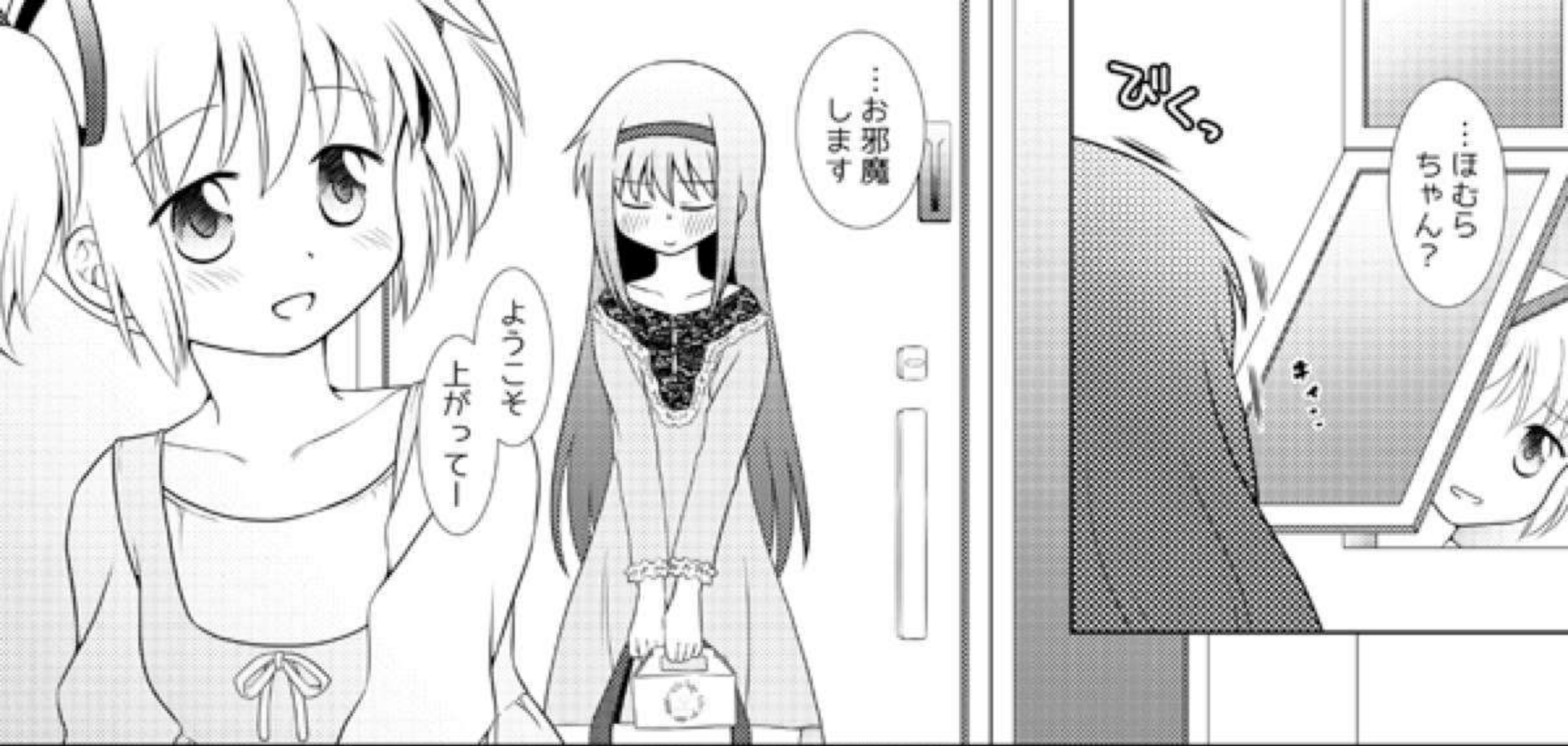
ママの  
ちよつとした  
出張

パパは  
観光がてら  
皆で行こうと  
言ったけど

わたしは  
テストもあるし  
ほむらちゃんを呼んで  
お留守番するねって  
言ったの









こっちは  
プレゼント

わあっ



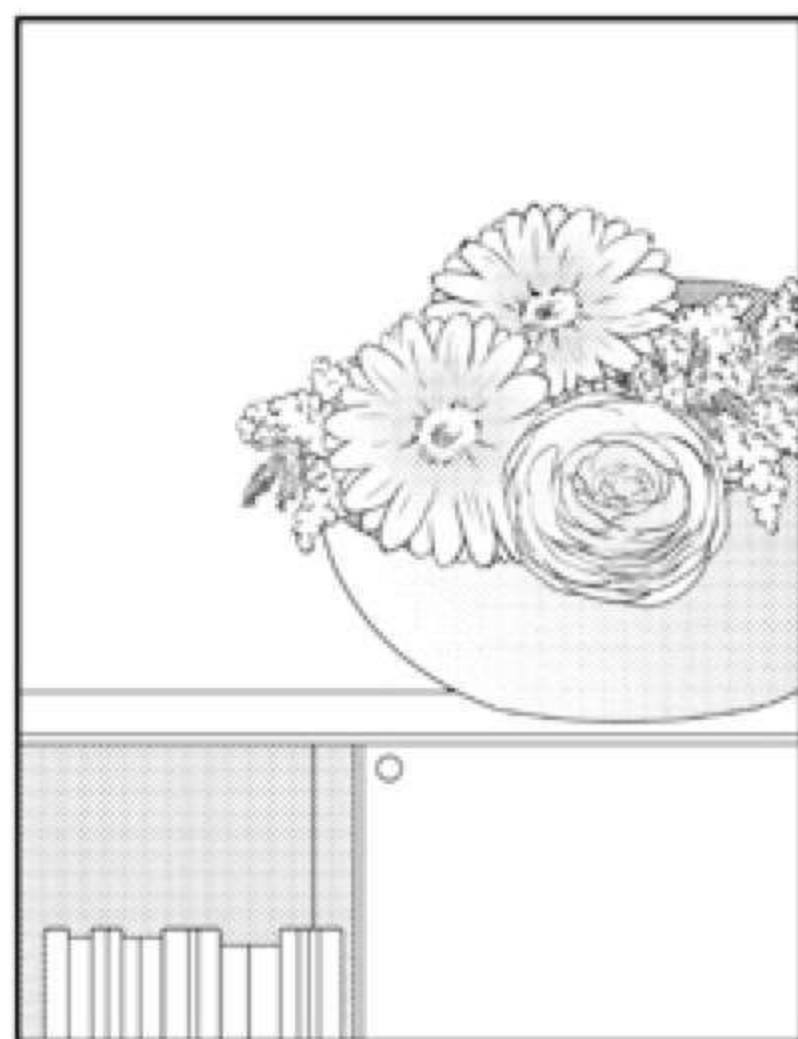
ありがとう  
嬉しい……



匂い  
いい

ふふっ



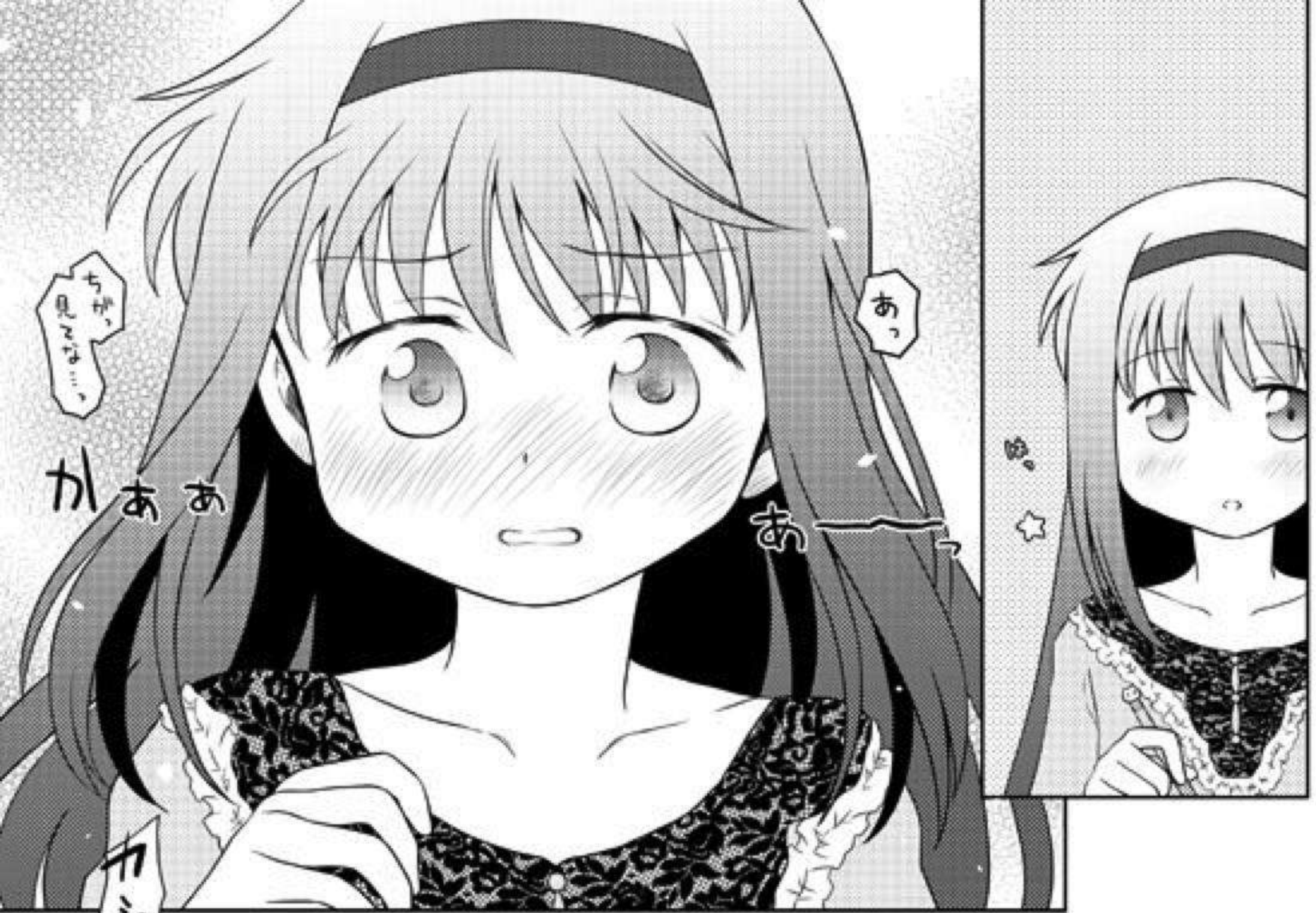


わたしなんか昨日からドキドキして今も勉強なんか手につかないのに

我ながらすごい事言っちゃった

「記念日」したいねなんて











できる  
ことなら

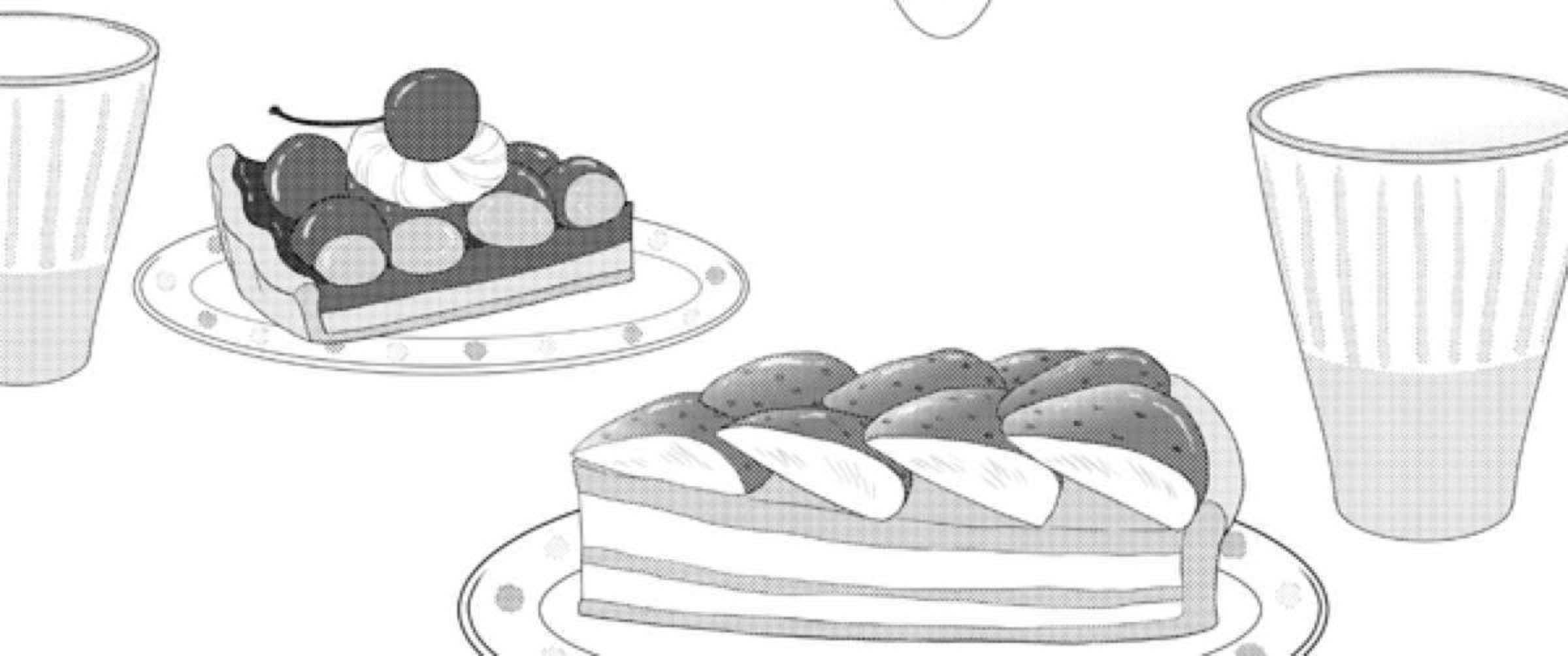
ふわふわ  
くすぐったい

こんな  
幸せな気持ち

…しようが  
ないなあ……

ほむらちゃんも  
感じていたら  
嬉しいな——

——  
明日？





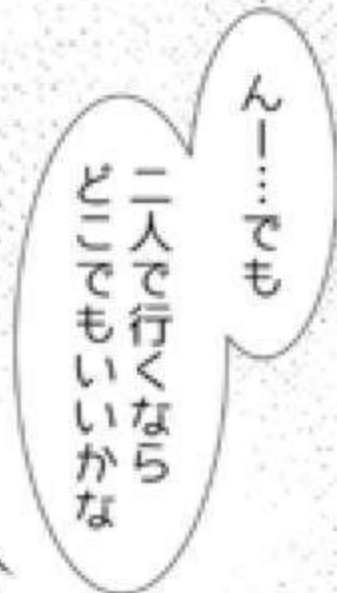
うん

晴れたら  
お出かけ  
したいなっ



いいわね  
どこにする？

まどかは  
バラ園に  
行きたがってた  
かしら？



んーでも

二人で行くなら  
どこでもいいかな



それなら  
ゆっくり  
考えればいいわ



こっちも絶対  
おいしいから！

楽しみに  
しててね！

…あら  
ケーキを  
食べているのに  
もう夕飯の  
はなし？



ケーキ  
おいしいっ

んーっ

そういえばね  
今日はパパが  
カレーを作って  
行ってくれたの





.....  
お風呂は  
お夕飯の後だと  
思ってたわ...

そんなの  
どっちでも  
いいじゃない?

お風呂  
気持ちいいっ—

ハダカの付き合い  
ってやつ?









—わたしは  
ほむらちゃんが  
居てくれれば  
恐くなんてないよ

…おどかすは

恐くは  
ないの…?



…でも  
わたし

欲張りなの…

こんなに  
幸せなのに

ほむらちゃんが

好きで

好きで

もっとあなたを  
知りたくて

あなたと…深く  
繋がりたいくて

全部欲しくて

止まらないの



我儘で…  
ごめんね

でも嫌いにな  
ったら  
…やだ

ばかっ  
嫌いな  
なる訳…っ！

…でもっ

恥ずかしいところも  
かっこ悪いところも  
今まで散々  
見られてるのに…っ  
これ以上なんて…っ

えー?











……

……なんて  
思ったりも  
したけれど

いかになるよ  
緊張がぶり返して  
きたりして

キーン



心臓の音

ほむらちゃんに  
聞こえちゃうんじや  
ないかな

…あんなこと  
言うんじや  
なかったかな



——まどか——

キーン



…ずるいよ  
ほむらちゃん

こっち  
向いてよ



でも

まどか……



ほむ

もう  
指先が  
焦れてる



どんなに  
恥ずかしくても





飛び込むなら

——  
ほむほむ  
さかこ

あなたじゃ  
なきゃ

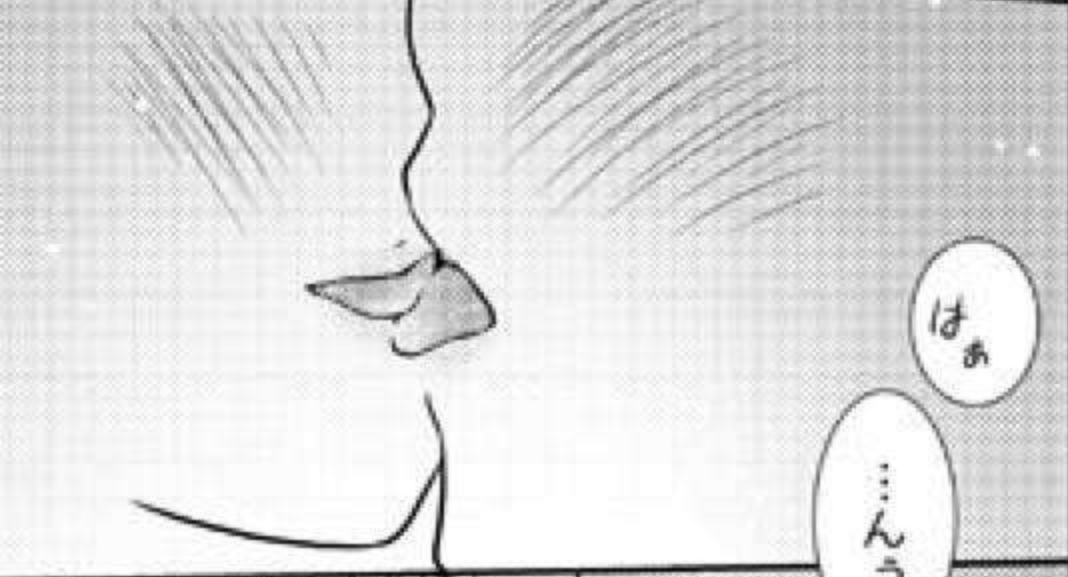
嫌



——  
.....



.....





.....  
わかんない...

あ、

.....  
私も.....

.....  
わかんない.....



わかんない.....  
あ


あ

.....  
わかんない.....

.....  
まどかの  
言った通りだわ








……まどかの  
こんな顔  
初めて見たわ…




んっ



そんな顔するって  
知っちゃったち…

私だって…

もっと欲張りにな  
る…



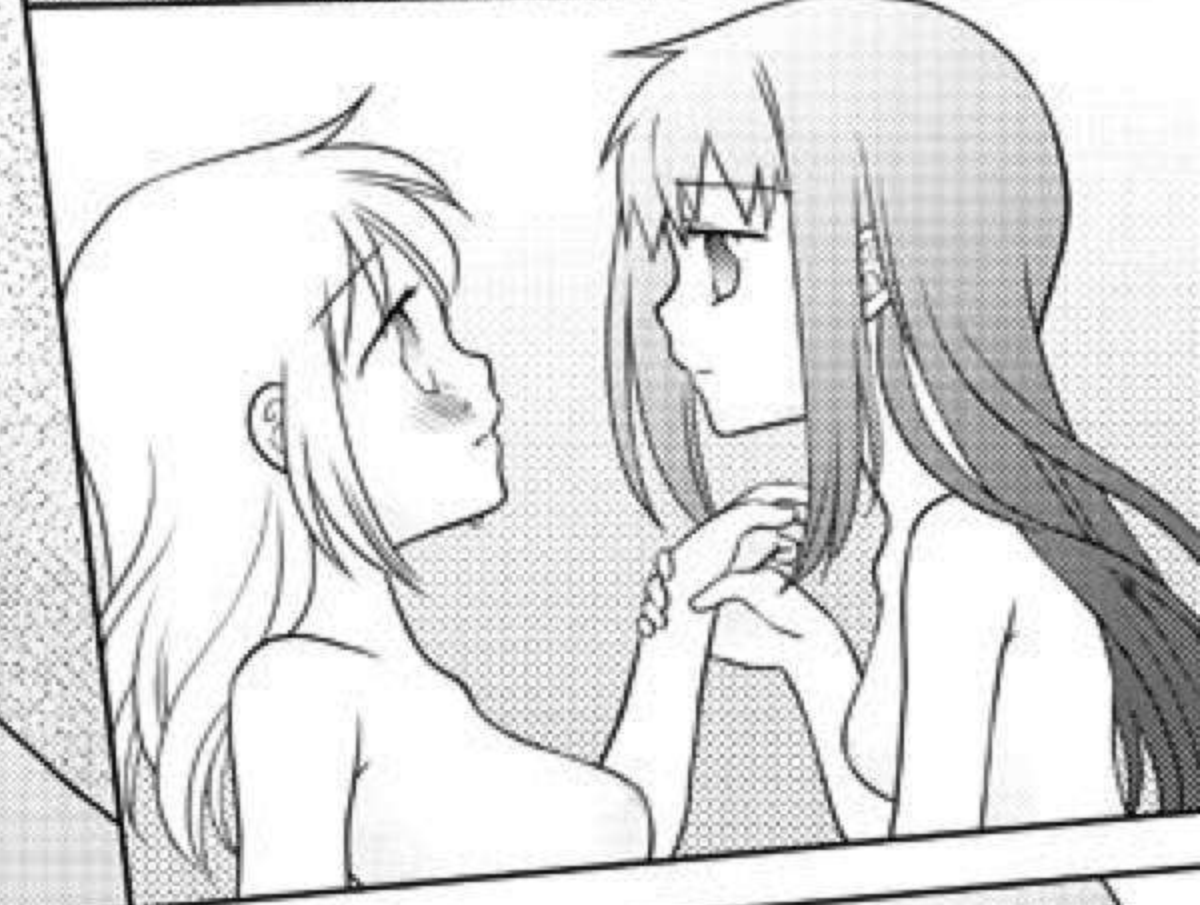
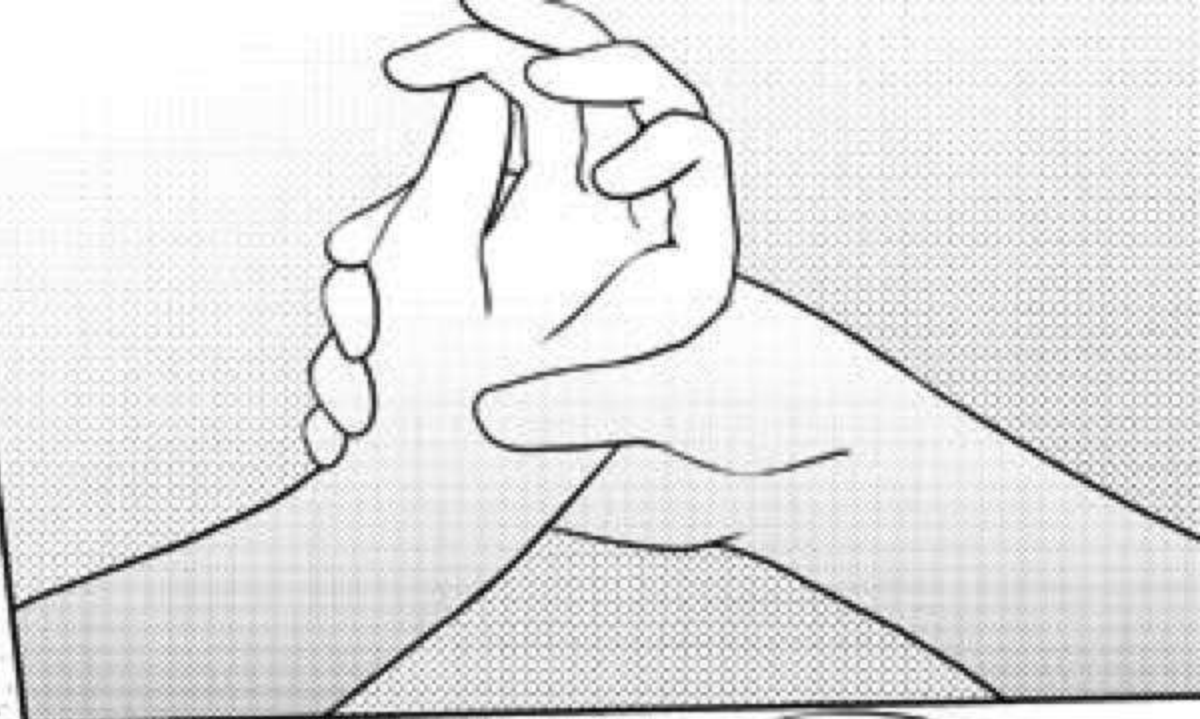
……ほむらちゃん、は

…イヤじゃ  
ない……？

……んっんっん

そんな事  
思う訳がない





だっていつも  
わたしばかり  
乗り気で……



だって……

——ほ、  
ほんとは……  
ずっと  
不安だったの……



ほ、ほむらちゃんが  
イヤイヤ付き合っ  
てくれているだけだっ  
たらどうしようって……

でも……  
怖くて聞けな  
くて……

でも、  
そうじゃないって  
やっど……

あ、安心した  
いかな……



止ま  
まなく  
なっ  
ちや  
って……

……い  
めん

い  
めん  
ね  
ま  
ど  
か

あ  
な  
た  
に  
そ  
ん  
な  
思  
い  
を  
さ  
せ  
た  
か  
つ  
た  
訳  
じ  
ゃ  
な  
い  
の  
……

……い  
めん

い  
めん

…そうね  
確かに

我慢…は  
してたかも

……な、  
なんでえ……っ

……わからな……



……おまの  
はか……っ

あ……!!

あ  
あ

あ  
あ





ほっ

痕ついた



——知らないから!

私、きつと歯止めが効かなくなるよ……!

……何するか分からないんだから……!



まどか……がそういう事を望んでるってわかる……けど……

でももしあなたが怖がっても止められなかったらどうするのよ……!

ほんとに……っもう……っ!



知らないん  
だから……!

あっ

は

あ  
ちっ

……おん

……おん……  
こご……ん

ん……

わたしも……  
さわるね……?



きゅん

ふっふ

まん…  
まど…っ  
ぬれ…てる…

きゅん  
ほわほわ  
しゅん…





もうっ

…ね、  
それより…  
きもちいいっ

えっ  
ひゃっ



わ…  
さ、  
さわりっこって  
ちよっとえっち  
かも…っ

やっまど…っ  
見ちゃ…だめっ



そんなのっ  
言えな…  
あんっ!



ほ

あ

…まどか  
かわいい

やっ  
ほむほむ…っ

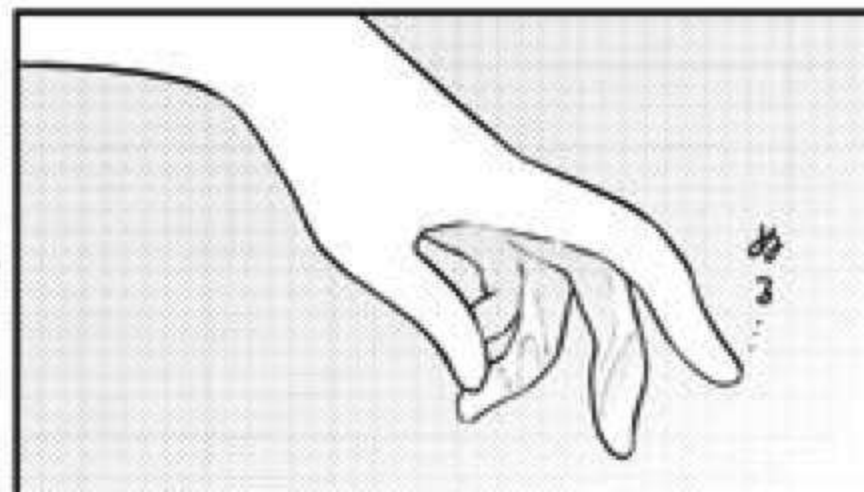


なか…  
入れて…  
いい…?

…ね



はあ



め



そんな事聞かないでよお……っ



……いいっ  
いいっ  
いいっ……っ



う

か  
あ  
あ

……っ



ごめん  
なさい……  
ん



……だって……  
まどかが  
かわいいから……



あっ  
はっ

ほむら……  
ちや……!!

……  
痛い……?  
ん



……  
……  
……



……  
……  
……!!



ううん……  
でも……っ  
へんなかんじ……っ  
は……





こっ  
こっ  
ごめんなさい

ほっ  
ほむらちゃん……っ

だっ……で……

急に……  
抜いちゃ  
や……っ



!!!!



……うん  
今は全然……  
……  
血だってちょっと  
出ただけだし……

……  
……  
……平気？  
……  
……  
痛く……ない？

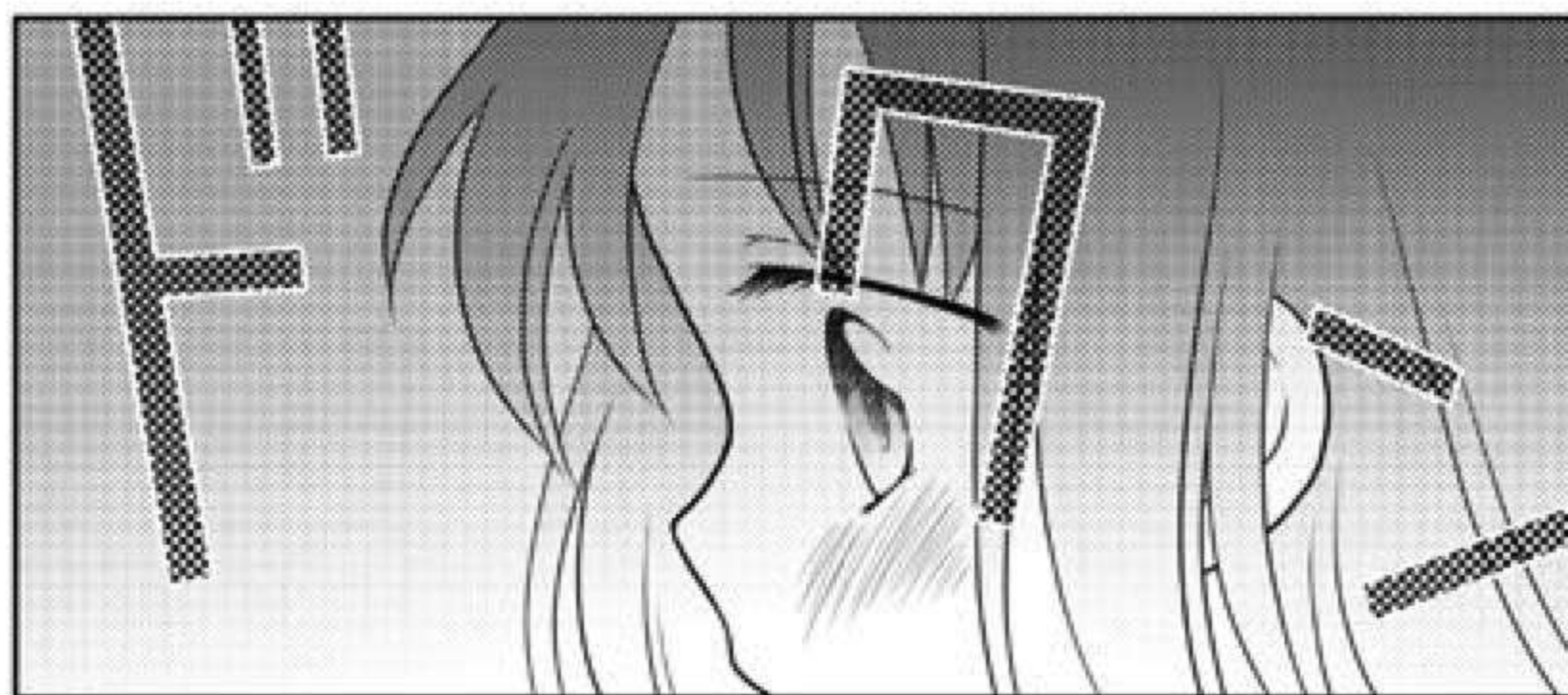
アッハッハ

えーでも  
これ多分  
ケガじゃないよ……？

どうしよう  
ごめ……っ

あわわわ  
まっまどっ  
怪我っ

あれじゃない？  
処……じよ……ま





私…も

まどかの…  
ものじいん…



—怖い？

…さわ  
ない…

……緊張  
……

……少し





ゆっくり  
してあげる  
から……

大丈夫だよ  
ほむらちゃん

……

あっ

あ



……だいすき

——はっ



……



……ほむら  
ちゃん







……!!  
仕方ない  
じゃない……っ!!

気の利いた  
言い方なんて  
私知らないものっ

ほむらちゃん  
ごめんね  
そんなつもりじゃ……



えひゃ?!

……にゃ……

も

にゃ



……そう

じゃあ  
もう黙って



あははは!  
やめっ  
きゃ

人のこと  
笑った罰よ



反省した  
かしら?

しました!  
したからあ  
……!

…やっぱり私

まどかには  
敵わないな



「めいね

本当は

見透かされて  
焦ったの



嫌だった  
訳じゃない

…嫌な  
わけがない

…ただ、  
どうしても





…知らなかった

知らなかった  
のよ



あなたの手が  
触れる度

まるで心に  
直に触られて  
いるみたいで

この行為に  
意味があるのか  
判らなかつた  
だけ——

だってそれは  
男女が生殖の為に  
行うものでしょう？



いんなに

私の中があなたで  
満たされるなんて

まどかに  
触れられるの

気持ちいい

あなたに  
触れる事を

許されて  
いるのが

嬉しいの





…だって  
うまく  
触れないわ

…まどか  
もっと脚  
開いて

や…っ  
ほむらちゃん  
やらして…っ



—  
……  
!!

あっ

や



ほ  
むらちゃん…っ

も  
だめっ

とめてえ…



なんどっ  
……いよ

とく…





…ほむら  
ちやあん……

…するこわ

そんな  
熱っぽい  
目をして



今度は  
わたしが

いっっぱい  
してあげる  
からね……!

えっ

え

…えっ?



今度は


ほむらちゃんが  
黙る番



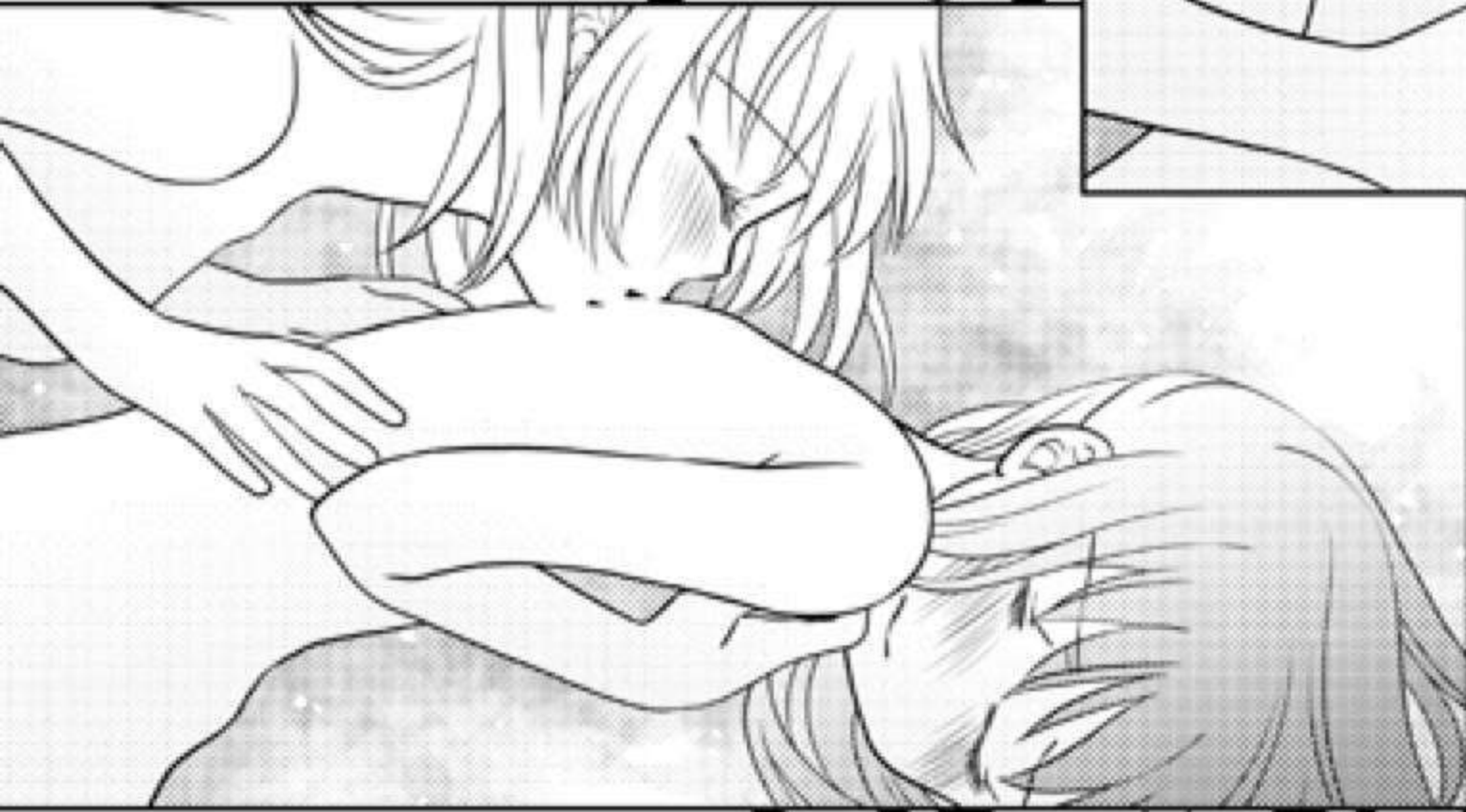
わっ私は……

じゅっ







そっか  
こういう事  
だったんだ



いっそ  
暴力的に



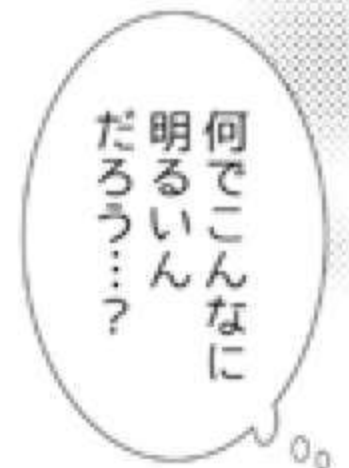
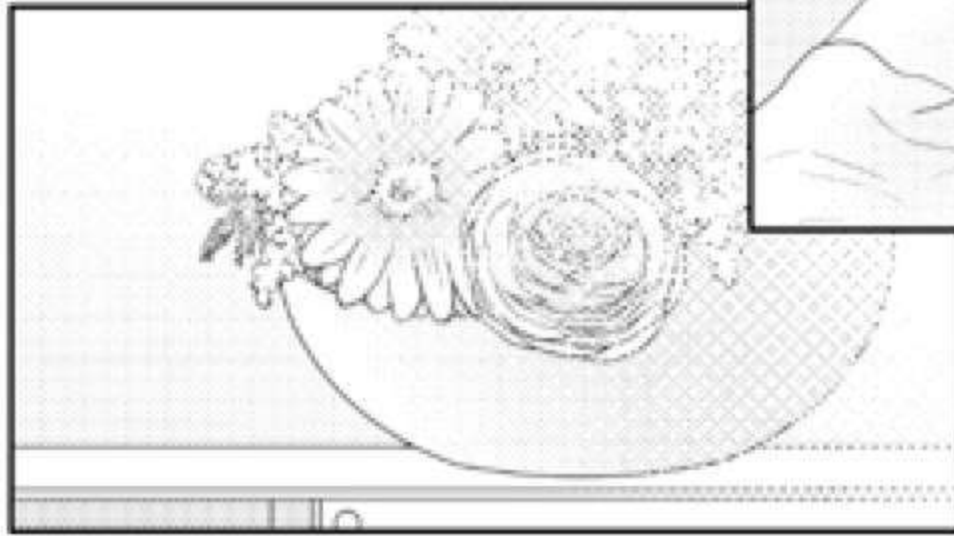
疑う余地も  
ない程に



私の中に  
刻みつけ  
られる

愛されている







…だ、  
けど…

まだ感触が  
残ってる…



あつ  
そういえば  
結局晩ごはん  
食べてないっ。

駄目じゃない  
折角作って  
貰ったのに!!



…駄目じゃない…  
二人してそんな  
夢中になっちゃ…



……



……  
この腕も  
身体も全部  
まどかのもの



こんな風に 自分の身体を愛おしく思う日が来るなんて  
想像もしていなかったの



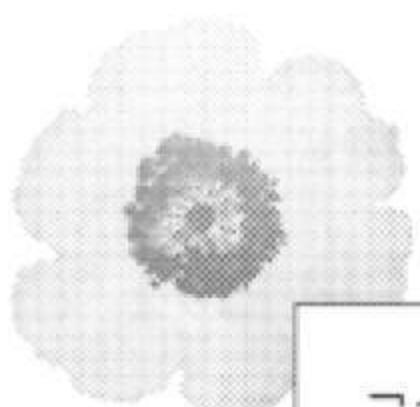
自分が  
何の躊躇いもなく  
まどかに触れている  
事に驚いて





初めて

ずっと彼女に  
恐る恐る  
手を伸ばしていた  
自分に気が付いた



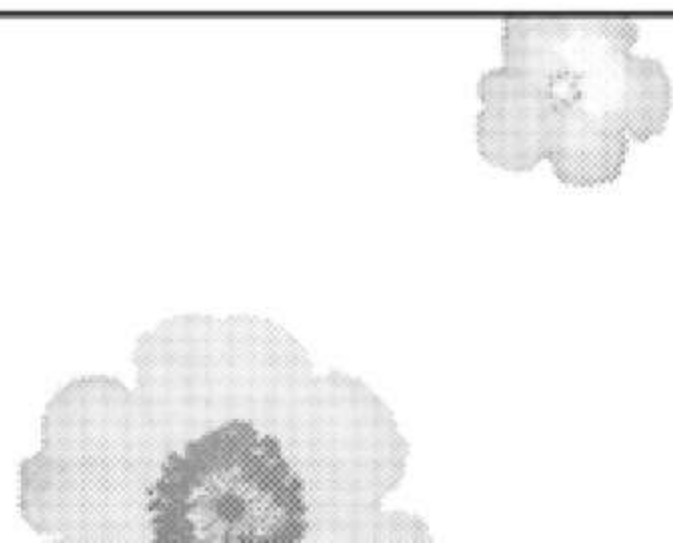
……そっかあ……  
寂しい思い  
させちゃった  
のかな……

……確かに  
今日は  
「記念日」だ



……「めんね

ん……



あなたの手で

生まれ変わった  
私の





えへへ

こゝろおめー



そっか

私も



お外  
いい天気  
だねえ

どこに  
お出掛け  
する?

サラ...

— そうね



でも

とりあえずは  
二度寝かしら

もぞ...  
=

えー？

カスウマ

もう、  
しかたない  
なあ……

…ああ

触れる素足  
気持ちいい

あなたの隣  
温かい

結局私達は  
すっかり寝過ごして  
しまったけれど

寝惚け顔の  
私を見た  
まどかが

やっと目の隈が  
消えたね、と

そう言って  
笑った



どもども、きのです。  
読んで頂いてありがとうございます。  
わたしはもうこっぴどくかしくて見返せないので  
代わりにもんどりうって頂ければ幸いです……。

曉美ほむらという少女の救済、しあわせについて、  
随分長い間考えておりました。  
つーてもそれ程難しい事だとは思っていませんでした。  
だってあの世界には悪意がないのだもの。  
シビアではあったけれど誰もが必死であっただけで。  
ほんのひとつ掛け違えたボタンを外してしまえば  
するすると収束してゆく様な、そんな気がしていました。  
そんな訳で「わたしはこれこれこーいう訳で  
皆がしあわせになる世界は有り得ると！思う！」と  
薄い本で主張してみた事がありますが  
まあ薄い本が200P超えましたよね……。  
曉美ほむらが、あの自己肯定感のうっすい女が  
どこまで逃げ道プチプチ潰せば「それ」を受け入れるのか、  
自分を納得させるのにそんなだけかかったので  
マジ曉美ほむらめんどくさい。しゅき！

はれたらあの丘へふたりで

……で、だ。

理詰めで曉美ほむらの救済について考えたあと、  
逆サイドからもつついてやりたいなーと思っておりました。  
本能という、身の内からどーしょーもなく溢れてくるもの。  
どんだけコ難しい事考えていても  
私たちは肉の身を持つ獣だということ。  
分泌される脳内物質ひとつでどーしょーもなく  
幸福感でいっぱいになってしまうこと。  
それはもう、見えてる世界の色が変わってしまう程、簡単に。

それが愛に届いてもたらされたなら、  
どれ程彼女の肩の力を抜けてくれるだろう、と思うのです。

…そーいう訳でこのおはなしは自分の中ではカンパネラと  
地続きになっておりますが、まあどーでもいいことです。

わたしは曉美ほむらの不器用で、ひたむきで、臆病で、  
どーしょーもなく間違えているところを愛しておりますが  
それでもいつか、何事かが起きて彼女の中の何かが変わって  
柔らかく微笑むところを見たいのです。  
見たいが故に手を変え品を変え捏造活動に勤んでおりますが  
いつか来る続編で、誰も想像してなかった物語の末に  
みんなで笑い合っているところを見れたらいいと、願っておりますだ。

……まあそれはそれとして、  
まどほむ初夜とか絶対漲るやん！！！！とか  
そーいう本でした。

お粗末さまでしたよ。

2016/06 きの





げん子のすみっこにかいてたrkkgk

はれたらあの丘へふたりで

2016/06/26  
ぺこん：きの  
unikio@hotmail.com  
twitter : @kiotaro3  
pixiv : 211530

print : sungroup